

令和8年度大阪府教育庁スクール・エンパワーメント推進事業
確かな学びをはぐくむ学校づくり推進校

八尾市立高美小学校 公開授業研究会

2026年10月2日（金）

学校紹介



報告の内容

- ①本校の課題と目標設定
- ②取組みについて
- ③授業づくりについて
- ④成果とこれから

①本校の課題と目標設定

〈昨年度までの研究テーマ〉

令和6年度

はてなをもとめて、伝えあいのできる子どもの育成
～情報の整理・分析のしかけ～

令和7年度

はてなをもとめて、自ら学びに向かう力の育成

〈昨年度の取組みからみる本校の課題〉

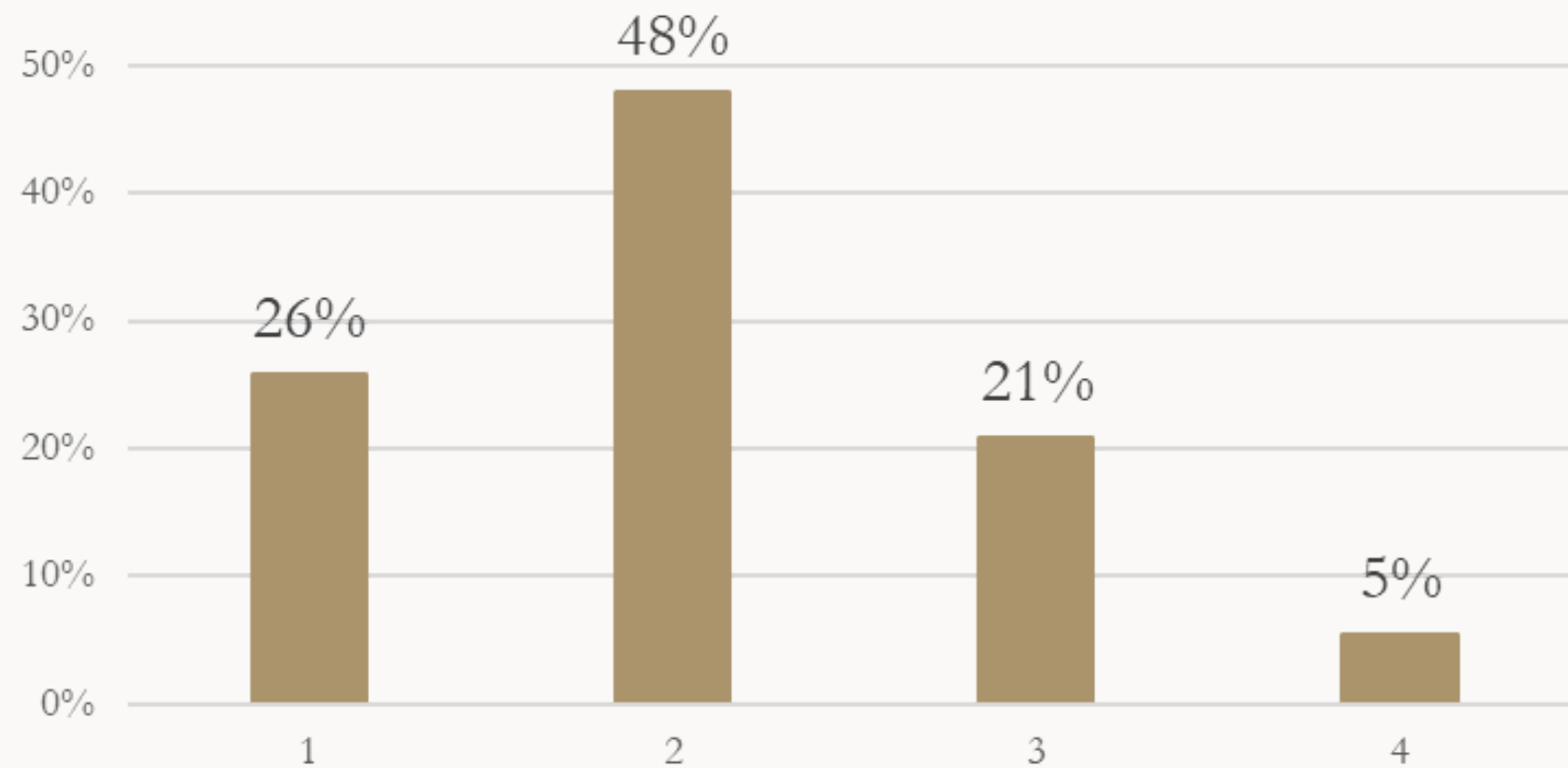
学びが「点」で終わっている

- ・ 単元計画をたて、見通しをもって学びに向かうことはできる。
- ・ 毎時、学びを積み重ねることへの意識が低い。
- ・ 学習している内容が、将来の役に立つという認識が低い。
- ・ 学びのつながりを意識することができる児童が少ない。

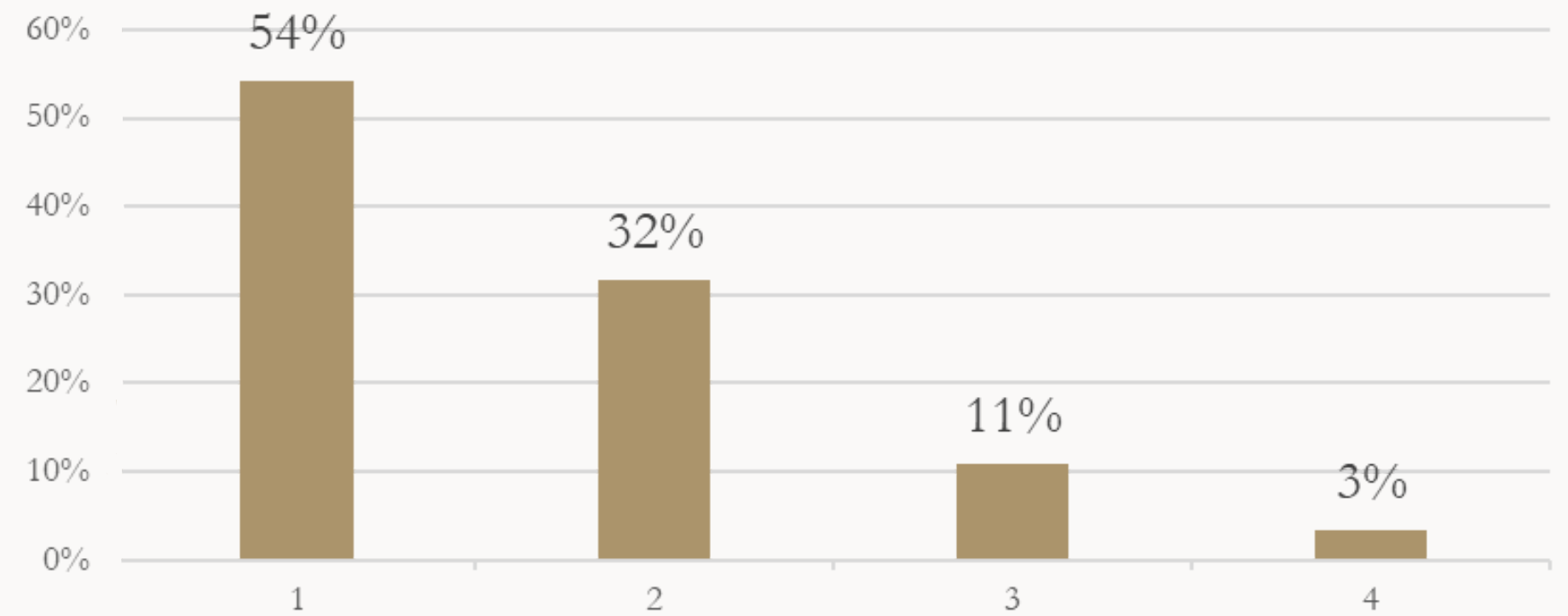
⇒ 「今の学び」と「次の学び」がつながっていない

〈アンケート結果からみる児童の実態〉

勉強のはじめに、「めあて」や「ゴール」を考えていますか。



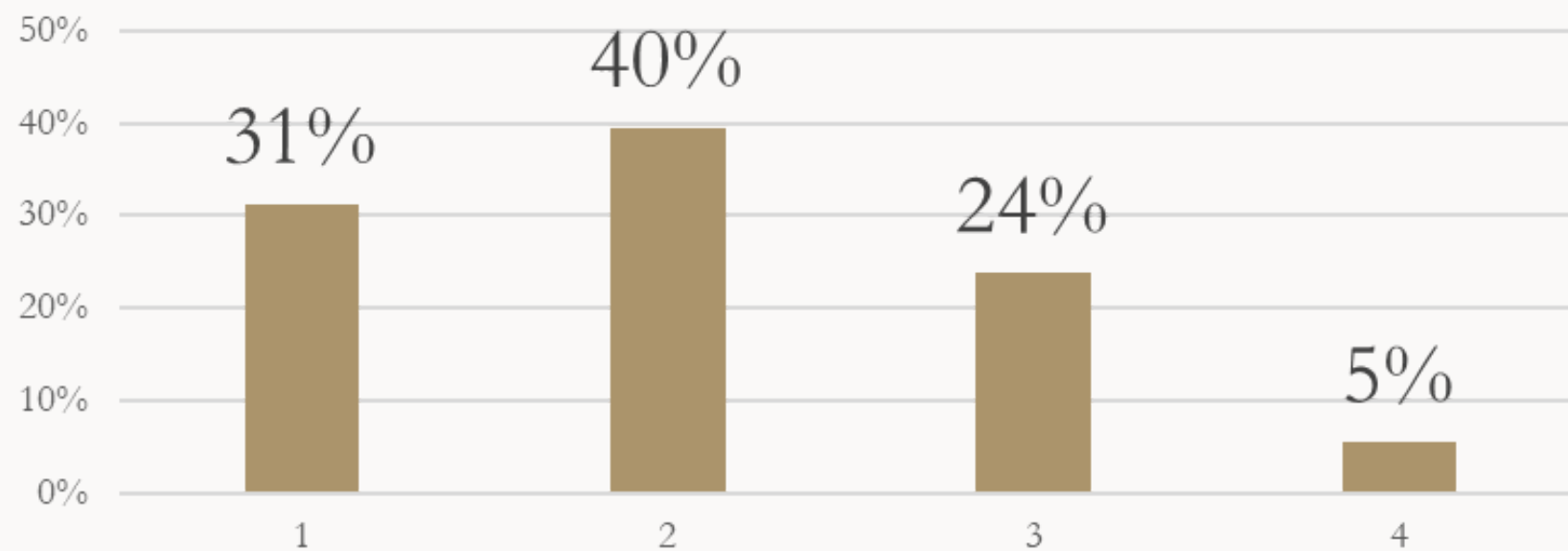
授業の終わりに、ふりかえりをしていますか。



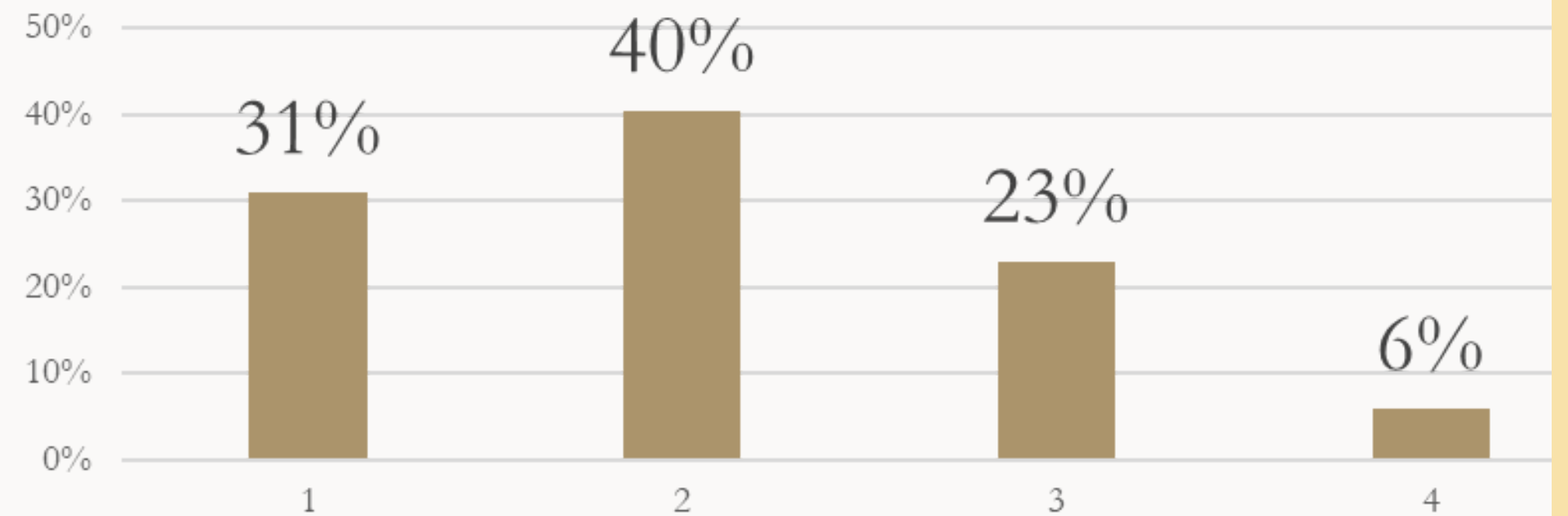
学習の初めに、めあてやゴールを意識する習慣はついてきている。
学習の終わりにふりかえりをする習慣はついてきている。

〈アンケート結果からみる児童の実態〉

まへの じゅぎょうの ふりかえりを、つぎの べんきょうに
いかしていますか。



ふりかえりをもとに、「どうするか」を考えていますか。



学んだことを次につなげようという意識が低い。

何のためにふりかえりをしているか意識することが難しい児童がいる。

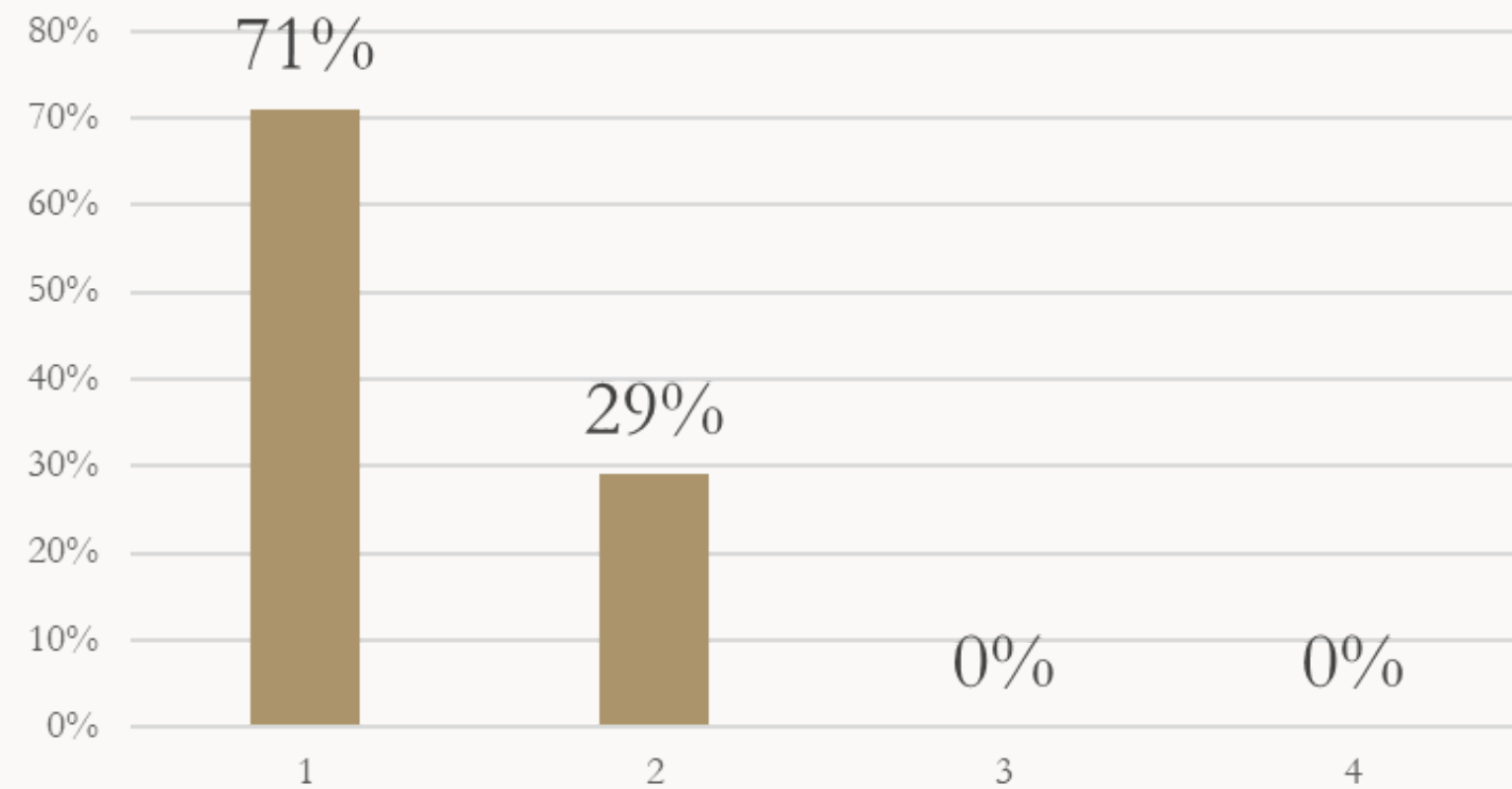
〈アンケート結果からみる児童の実態〉

「ふりかえる力に課題」

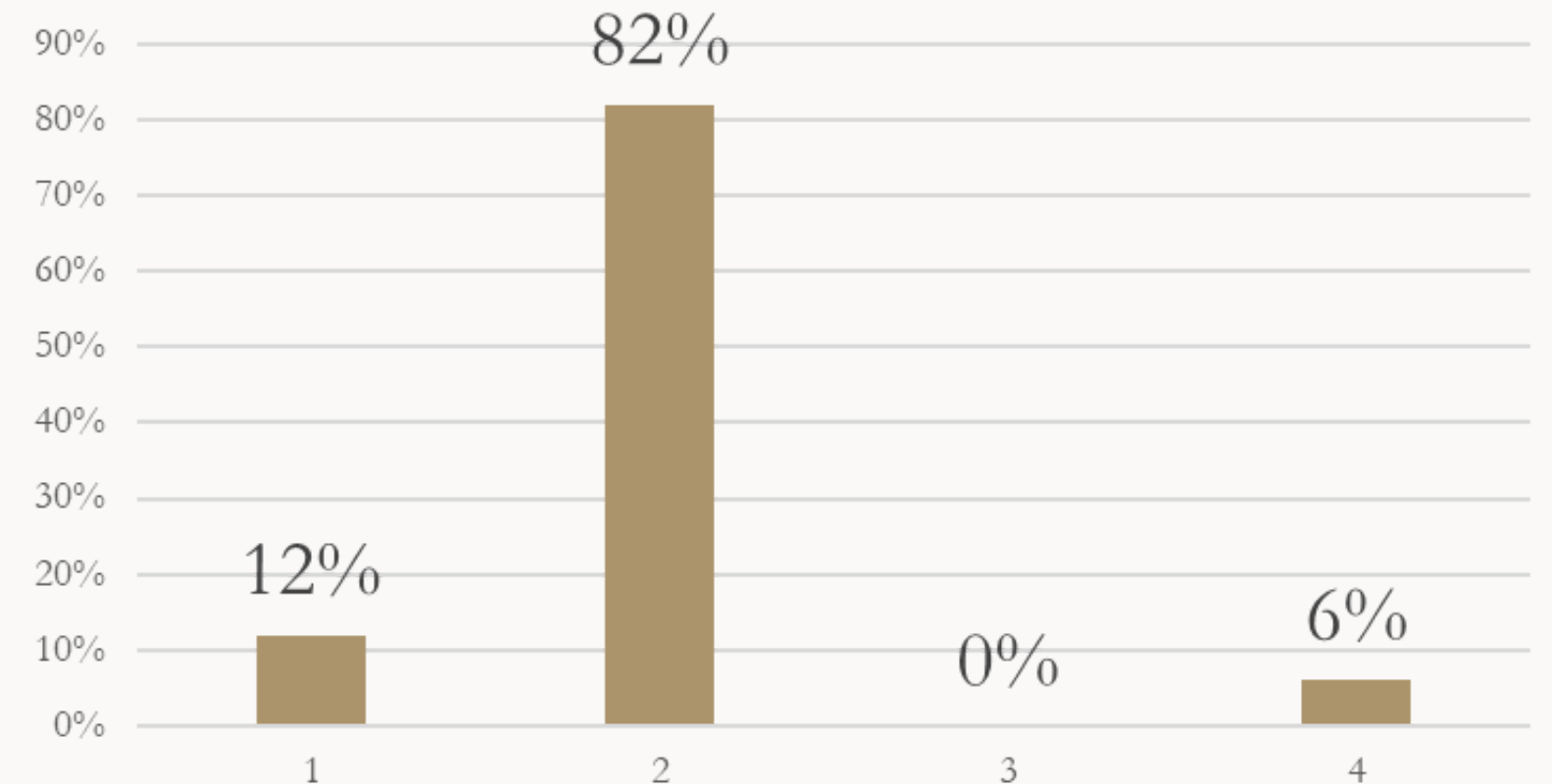
- ? 何を書けばよいかわからない
- ? 考えることが難しい
- ? 言葉にできない
- ? 詳しく書けない

〈アンケート結果からみる教員の現状〉

単元や、授業のゴールを子どもに意識させていますか。



毎時間、ふりかえりの時間を確保していますか。

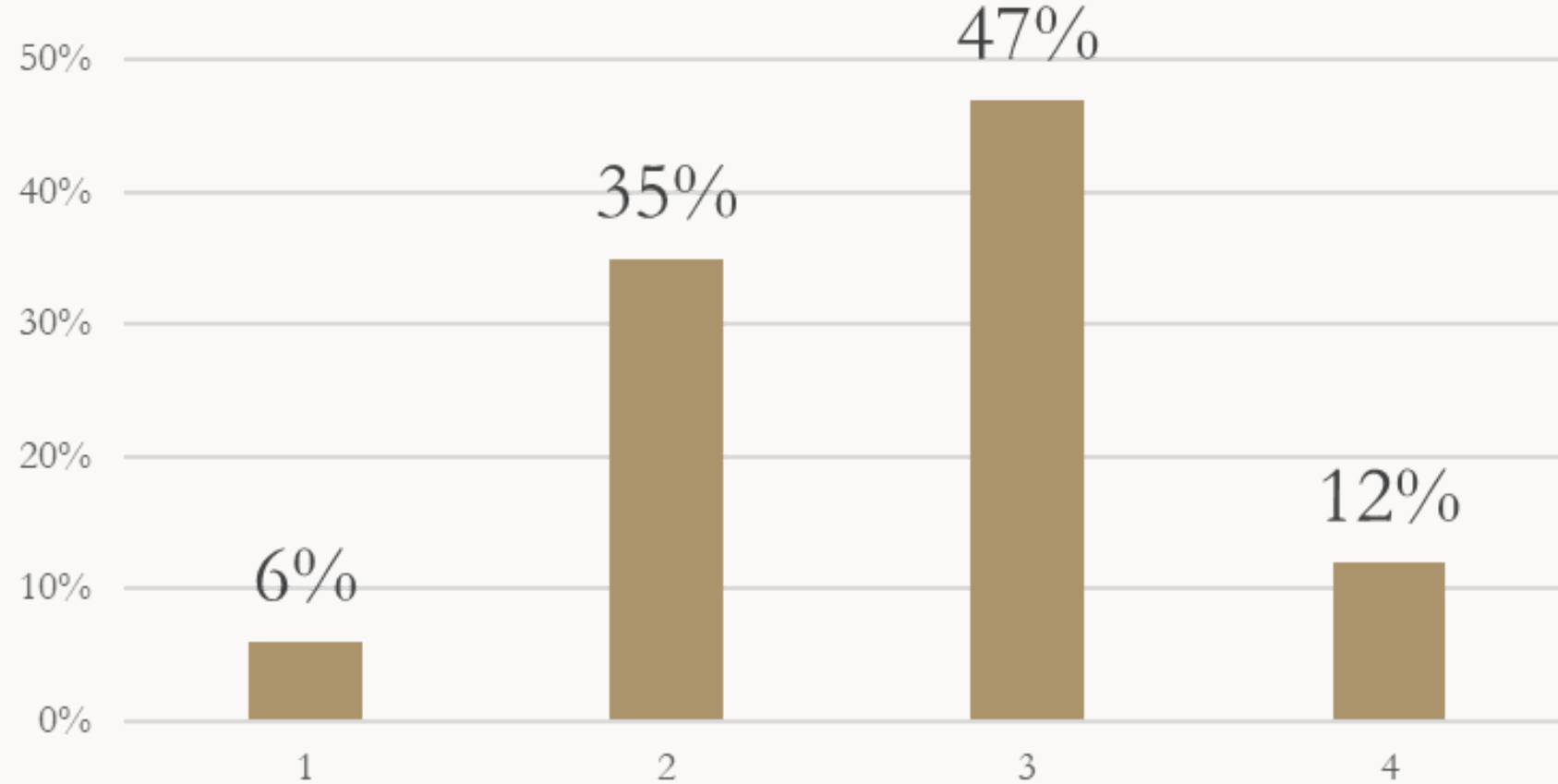


単元や授業のゴールを見据えて、めあてに正対したふりかえりを行うことができるよう意識して取り組んでいる。

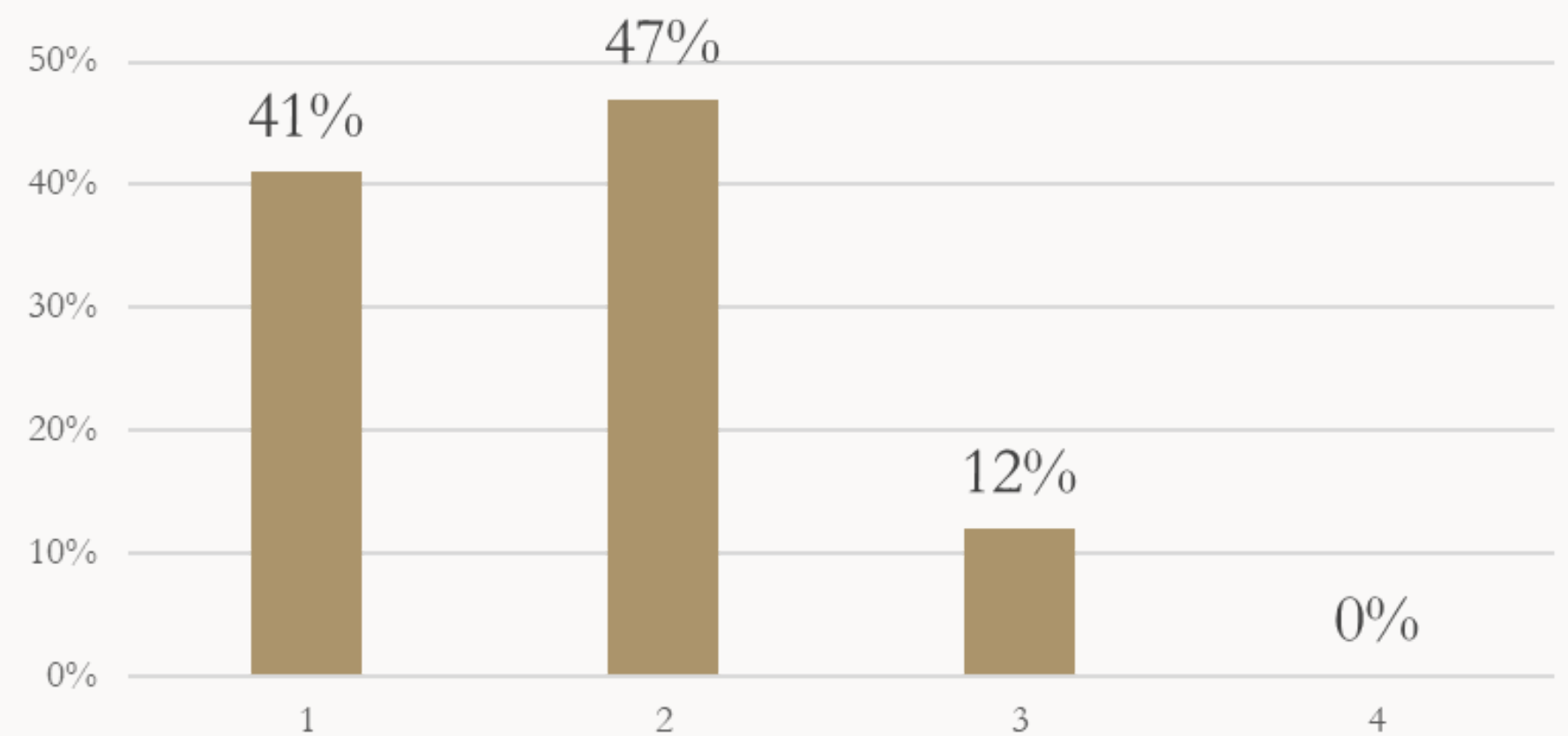
できるだけ毎時間ふりかえりを行いたいという意識が高い。

〈アンケート結果からみる教員の現状〉

子どもがふりかえりをもとに、学び方を調整できていますか。



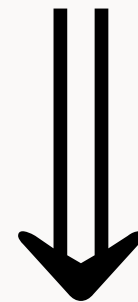
ふりかえりの指導に難しさを感じていますか。



ふりかえりを次につなげるための手立てに難しさを感じている。
児童がふりかえりをもとに学び方を調整する姿には課題を感じている。

〈アンケート結果からみる教員の現状〉

- ・ ふりかえりの書き方指導に難しさを感じている
- ・ ふりかえりの質を高める手立てが十分ではない
- ・ ふりかえりの時間確保が難しい



次の学びにつながるふりかえりをどう指導するか

今年度の研究テーマ

はてなをもとめて、自ら学びに向かう力の育成
～ふりかえりを通してつながる学び～

<めざす児童の姿>

学びの積み重ねを意識する

自分の現在地を把握する

前後の学びをつなげて考える

研究仮説

課題

ふりかえりを次の学びにつなげることができていない

仮説

問いをもち、ふりかえりを通して次の学びにつなげる経験を積み重ねることで、学びのつながりを実感し、自ら学びに向かう力が育つだろう。

② 取組みについて

〈研究推進の土台 目安表〉

- ・昨年度までの研究をつなぐ
- ・「自ら学びに向かう力」を教員で共通理解する
- ・授業づくりの共通指標とする

はてなをもとめて、自ら学びに向かう力の育成～ふりかえりを通してつなげる学び～ 目安表

観点	基礎段階（教師の支援のめ）		自己調整段階		発展段階	よりよく生きるために
	1	2	3	4	5	
問いを生む	気づいたことや分かったことを具体的に言える。	素朴な疑問（「なに」「どこ」など）を見つけ、言ったり書いたりできる。	複数の資料を基に、比較したり関係づけたりしながら、自分で問い（「なぜ」「どのように」など）をつくることができる。	立てた問いを整理、分類し、より調べがいのある問いへと絞り込んだり、問いの質を高めるたりできる。	立てた問いを検討し、より本質的な問いや新たな課題へと発展させることができる。	自分の問いを社会や未来などと結びつけ、新たな価値を生み出す問いを創造できる。
めあて	教師が示しためあてを理解し、学習の方向を意識して活動できる。	教師や友達と話し合いながら、問いや既習事項をもとに学習のめあてを考えることができる。	教師や友達と話し合いながら決めためあてに加え、自分なりのめあてをもつことができる。	学習状況に応じて、めあてをとらえ直したり修正したりしながら主体的、探究的に学習を進めることができる。	これまでの学びや、経験と結びつけながら、自分にとってより適切なめあてを発見し、次の学びや課題解決にいかずことができる。	学ぶ意味や価値を見だし、自分や仲間、社会とのつながり意識しためあてを設定できる。
思通す（計画する）	教師が示した学習計画や手順を理解し、それに沿って活動できる。	課題解決や目標達成のために、何をすべきか大まかな手順を考えることができる。	課題解決に向けて、必要な情報や学び方を考え、簡単な計画（手順や時間配分）を立てることができる。	過去の学習経験や振り返りを基に、複数の解決方法を比較し、選んで計画を立てたり、修正したりできる。	課題の複雑さや条件を考慮し、複数の方法を戦略的に組み合わせ、詳細な計画を立てることができる。	不測の事態を想定し、柔軟に計画を再構築しながら、探究プロセス全体を自己管理できる。
実行する	教師に指示された情報源（教科書など）を使い、情報を集めたり作業したりできる。	複数の与えられた情報源から、必要な情報を探し出し、ノートなどに書き出すことができる。	必要な情報を得るために、自ら情報源（本、人、インターネットなど）を探し、目的別に情報を整理できる。	集めた情報を比較・分析し、情報の重要度や信頼性を判断しながら取捨選択できる。分からないことは自ら質問・調査することができる。	複数の情報を統合し、自分なりの考えを構築できる。	独自の実験や調査を計画・実行し、新たな知見を生み出す。探究の過程や成果を論理的に表現・発信できる。
振り返る	学習活動の中で、自分が「できたこと」「がんばったこと」を具体的に挙げるることができる。	めあてをもとに、教師が示した観点（マープラックなど）に沿って、自分の活動や成果を自己評価できる。	自己評価の結果について、「なぜできたか」「なぜできなかったか」の理由を、具体的な活動と結びつけて説明できる。	自分の学びの成果や課題を客観的に分析し、次に取り組むべきことを具体的に設定できる。	仲間との対話を通して、自分の考えや学びを客観視し、多角的な視点から学びの価値や意味を捉え直すことができる。	探究のプロセス全体（問い、めあて、計画、実行、表現）を俯瞰して評価し、自分自身の学び方や思考の特性をメタ認知し、次の問いや学びへとつなげることができる。

〈研究推進の土台 目安表〉

	基礎段階（教師の支援多め）		自己調整段階		発展段階	よりよく生きるために
観点	1	2	3	4	5	
問いを生む	気づいたことや分かったことを具体的に言える。	素朴な疑問（「なに」「どこ」など）を見つけ、言ったり書いたりできる。	複数の資料を基に、比較したり関係づけたりしながら、自分で問い（「なぜ」「どのように」など）をつくることができる。	立てた問いを整理、分類し、より調べがいのある問いへと絞り込んだり、問いの質を高めたりできる。	立てた問いを検討し、より本質的な問いや新たな課題へと発展させることができる。	自分の問いを社会や未来などと結びつけ、新たな価値を生み出す問いを創造できる。
見通す（計画する）	教師が示した学習計画や手順を理解し、それに沿って活動できる。	課題解決や目標達成のために、何をすべきか大まかな手順を考えることができる。	課題解決に向けて、必要な情報や方法を予測し、簡単な計画（手順や時間配分）を立てることができる。	過去の学習経験や振り返りを基に、複数の解決方法を比較し、選んで計画を立てたり、修正したりできる。	課題の複雑さや条件を考慮し、複数の方法を戦略的に組み合わせた、詳細な計画を立てることができる。	不測の事態を想定し、柔軟に計画を再構築しながら、探究プロセス全体を自己管理できる。
実行する	教師に指示された情報源（教科書など）を使い、情報を集めたり作業したりできる。	複数の与えられた情報源から、必要な情報を探し出し、ノートなどに書き出すことができる。	必要な情報を得るために、自ら情報源（本、人、インターネットなど）を探し、目的別に情報を整理できる。	集めた情報を比較・分析し、情報の重要度や信頼性を判断しながら取捨選択できる。分からないことは自ら質問・調査することができる。	複数の情報を統合し、自分なりの考えを構築できる。	独自の実験や調査を計画・実行し、新たな知見を生み出す。探究の過程や成果を論理的に表現・発信できる。
振り返る	学習活動の中で、自分が「できたこと」「がんばったこと」を具体的に挙げるができる。	教師が示した観点（ルーブリックなど）に沿って、自分の活動や成果を自己評価できる。	自己評価の結果について、「なぜできたか」「なぜできなかったか」の理由を、具体的な活動と結びつけて説明できる。	自分の学びの成果や課題を客観的に分析し、次に取り組むべきことを具体的に設定できる。	仲間との対話を通して、自分の考えや学びを客観視し、多角的な視点から学びの価値や意味を捉え直すことができる。	探究のプロセス全体（問い、計画、実行、表現）を俯瞰して評価し、自分自身の学び方や思考の特性をメタ認知し、次の問いや学びへとつなげることができる。

（メモ）※思いつく範囲でOK！ 子どもの様子、授業でやっていた工夫、うまくいったことや難しかったことなど

国：初見の感、ギモン → 授業計画（振り返り）
算：ふしぎな数字の謎 → 教科書の見直し
新聞：調べ学習や発表、気は通じている

基礎段階（教師の支援多め）		自己調整段階		
1	2	3	4	
いたことや分かったことを具体的に言える。	素朴な疑問（「なに」「どこ」など）を見つけ、言ったり書いたりできる。	複数の資料を基に、比較したり関係づけたりしながら、自分で問い（「なぜ」「どのように」など）をつくらることができる。	立てた問いを整理、分類し、より調べがいのある問いへと絞り込んだり、問いの質を高めたりできる。	立てた問いやとがで
示した学習計画や理解し、それに沿動できる。	課題解決や目標達成のために、何をすべきか大まかな手順を考えることができる。	課題解決に向けて、必要な情報や方法を予測し、簡単な計画（手順や時間配分）を立てることができる。	過去の学習経験や振り返りを基に、複数の解決方法を比較し、選んで計画を立てたり、修正したりできる。	課題の方法、細な計
指示された情報源（教科書など）を使い、集めたり作業したりできる。	複数の与えられた情報源から、必要な情報を探し出し、ノートなどに書き出すことができる。	必要な情報を得るために、自ら情報源（本、人、インターネットなど）を探し、目的別に情報を整理できる。	集めた情報を比較・分析し、情報の重要度や信頼性を判断しながら取捨選択できる。分からないことは自ら質問・調査することができる。	複数の学びを構築
学習活動の中で、自分が「できたこと」「がんばったこと」を具体的に挙げることができる。	教師が示した観点（ルーブリックなど）に沿って、自分の活動や成果を自己評価できる。	自己評価の結果について、「なぜできたか」「なぜできなかったか」の理由を、具体的な活動と結びつけて説明できる。	自分の学びの成果や課題を客観的に分析し、次に取り組むべきことを具体的に設定できる。	仲間との学びを、自ら学びの成果を具体的に設定できる。

画面でOK！ 子どもの様子、授業でやっていた工夫、うまくいったことや難しかったことなど

（メモ）※思いつく範囲でOK！ 子どもの様子、授業でやっていた工夫、うまくいったことや難しかったことなど

算数 今日こんなことをします。今日のめは何にしたらいいかな？
何ができるようになれば、今日はOKになる？
さきほど子どもからめを出させたらしい ← 個々に言わせたりグループで話させたり...
今日はこんな感じで
次回もこんな感じで、次はこんなことをやらせたい 等

国語 授業の進め方も
① ゴールを提示
② 時間数をみせる
みんなが授業の進め方（学習計画）を考えられる

- ・ 昨年度の担任から今年度の担任へ、児童の学び方を引き継ぐツールとしても使用

〈令和8年度 高美小学校の主な取り組み〉

研究の重点

★ふりかえる★

ふりかえり活動の充実

問いを生む

はてな博物館

実行する

自主学図書館 自主学ビンゴ

〈問いを生む〉

はてな博物館

ねらい…自ら問いを見つける力を育てる

育てたい力

気づきや疑問をもつ力 課題を発見する力 学びの出発点を作る力

〈問いを生む はてな博物館〉

- ① 問いを書き出す
- ② 一番気になるはてなを書く
- ③ 予想、理由を書く
- ④ 「はてな博物館」へ提出

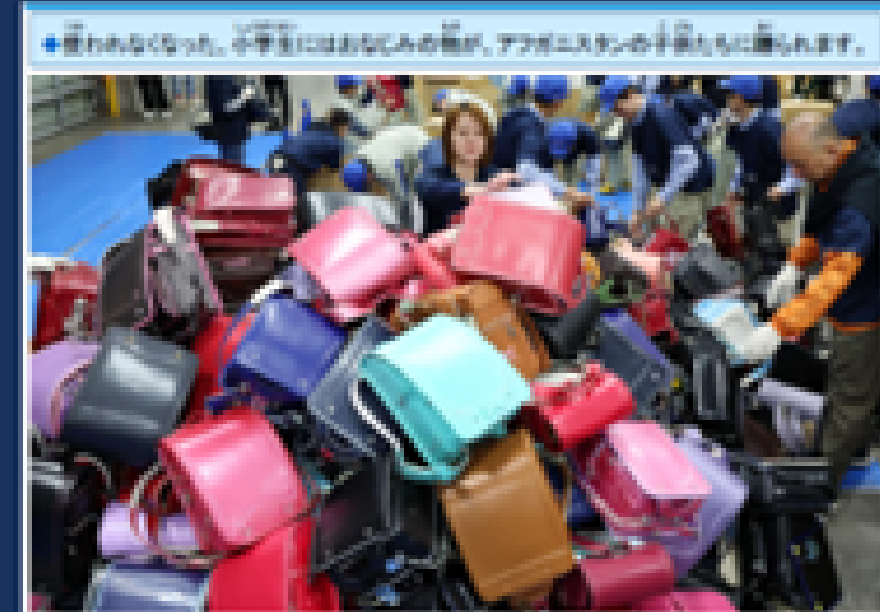
はてなみつけ (なぜ?これはなに?もし~だったらどうなるの?)

どう送っているのか気になる

どっからランドセルが来たの?

青い服装で青い帽子を被っているの?

別に帽子なんていらないでしょ



使われなくなったランドセルをアフガニスタンの子供たちに贈るため、国産のランドセルが4日、福岡市中央区の倉庫で集められた。写真、野口野村撮影。ランドセルの人工皮革を製造販売する化学メーカー「タラレ」が2004年から始めた企画で、これまで約1万個を、約1000個を同社社員らが検品、国産のランドセルと一緒にアフガニスタンに届けてきた。この日は全国から寄せられた約1000個を同社社員らが検品、国産のランドセルと一緒にアフガニスタンに届けてきた。

【1】送っているのはなんですか? **ランドセル**
【2】みんなは学校で、ほかにどんな場を履きますか?ランドセルを履くでしょう。

真ん中にいる女性はなにをしているの?

それから青い帽子の人もそれから手回つたおじさんは何をしているの?

アフガンとはどこなの?

年から始めたてっぴくりした

一番気になるはてな
このランドセルたちをどうやって集めたのか気になる

よそう
贈られた?とか普通に書いてある通り企画でやっていらしいから寄付してくれたんかな?
りゆう
文庫に企画と書いてあるから

〈実行する〉

自主学図書館・自主学ビンゴ

ねらい…自分で決めて学ぶ経験を通して、自ら学びに向かう力の育成につなげる。

〈実行する 自主学図書館〉

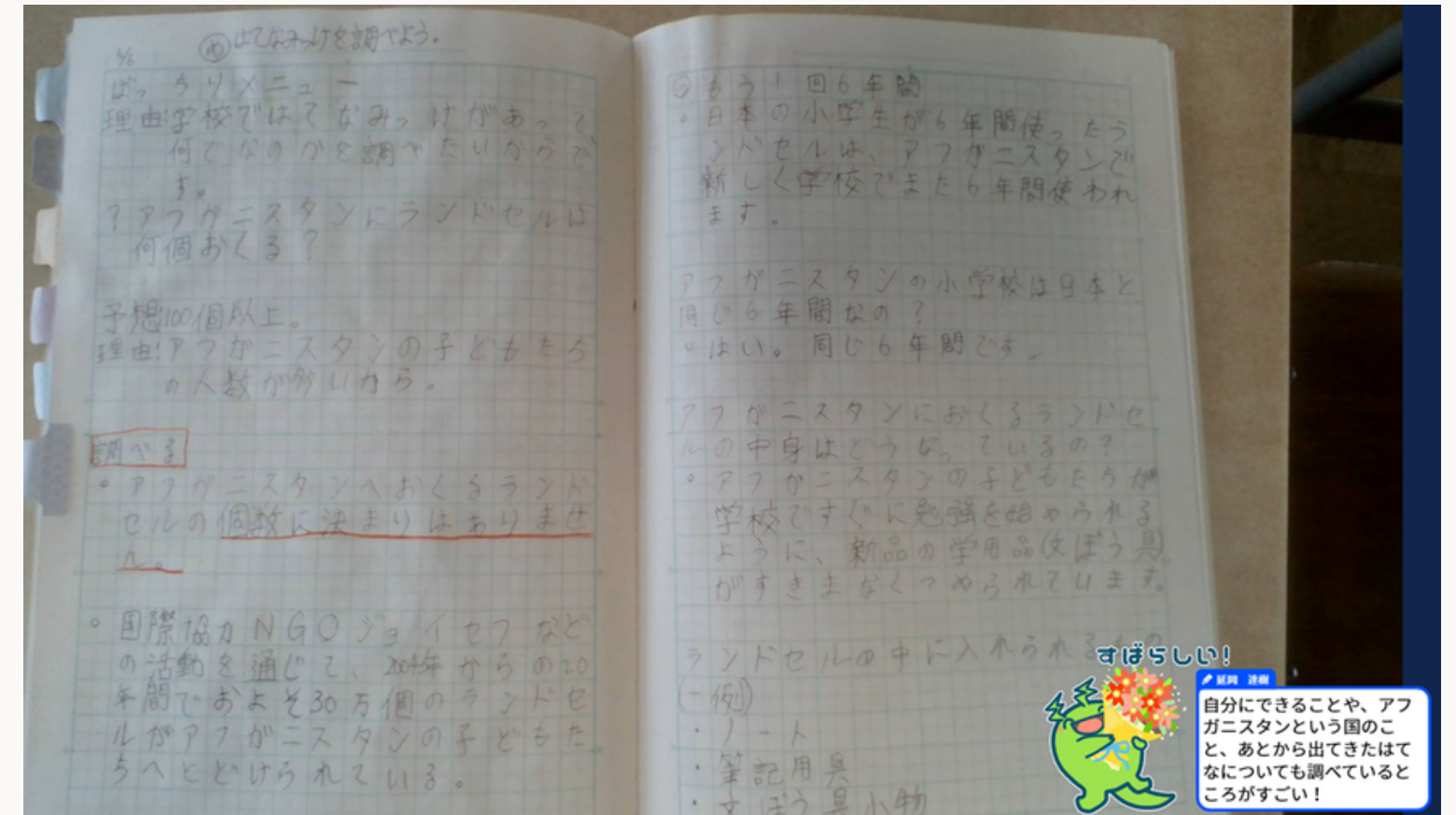
問いをもとに、自ら課題を設定して学ぶ力を育てる

①「はてな博物館」で様々なはてなに出会う

②自分が調べたいはてなを決める

③自主学習に取り組む

④ロイロノート「自主学図書館」へ提出



育てたい力

課題を設定する力 情報収集・整理する力 自分で学びを進める力

〈実行する 自主学ビンゴ〉

自分で学び方を選択し、継続して学ぶ力を育てる

- ①「自主学ビンゴ」のカードから、学習したいことを選ぶ。
- ②カードのマスの色をぬる
- ③2週間取り組んでどうだったか、ふりかえりを書く

名前 ()			
自主学ビンゴ			
目標 ()			
チャレンジメニュー 社会 ()月()日 ()時()分~()時()分	音楽 ()月()日 ()時()分~()時()分	はっちりメニュー 社会 ()月()日 ()時()分~()時()分	フリー ()月()日 ()時()分~()時()分
チャレンジメニュー 新聞記事 ()月()日 ()時()分~()時()分	チャレンジメニュー 国語 ()月()日 ()時()分~()時()分	わくわくメニュー 体育 ()月()日 ()時()分~()時()分	家庭科 ()月()日 ()時()分~()時()分
チャレンジメニュー 算数 ()月()日 ()時()分~()時()分	チャレンジメニュー 理科 ()月()日 ()時()分~()時()分	はっちりメニュー フリー ()月()日 ()時()分~()時()分	はっちりメニュー 国語 ()月()日 ()時()分~()時()分
はっちりメニュー 理科 ()月()日 ()時()分~()時()分	はっちりメニュー フリー ()月()日 ()時()分~()時()分	はっちりメニュー はてな博物館 ()月()日 ()時()分~()時()分	はっちりメニュー 算数 ()月()日 ()時()分~()時()分

・自主学をしたら、マスに色をぬりましょう。
・「自主学習の手引き」を見ながら取り組みましょう。
・最終日には、自主学ビンゴに取り組んでどうだったかふりかえりましょう。

ふりかえり (目標は達成できたか 取り組み方はどうだったか 次はどうしたいかなど)

★自主学習とは…★
自分で課題を考え、その課題を解決するために自分でやることを決め、取り組む学習

★自主学習をするとこんな力が身につきます★
① よく考え、工夫する力
② 学習計画を立てる力
③ 自分のペースで学習を続ける力
④ 学習を楽しむ力

★自主学習を始めよう★
① 今日の課題(テーマ)を考える。
ばっちりメニュー…学校での学習した内容
わくわくメニュー…興味があることについて調べる。
チャレンジメニュー…まだ習っていないことや、習ったことをレベルアップさせた内容
② めあてを決める。なぜこの自学をしようと思ったのかを書く。
③ 内容を書く。
④ よりかえり、感想を書く。

ばっちりメニューの例
国語…漢字の練習。熟語などの意味調べ。
算数…教科書や計算ドリルの問題をもう一度解く。
社会…授業中に学習した内容についてまとめる。
理科…授業中に学習した内容についてまとめる。

わくわくメニューの例
・学校の学習や日常生活の中で、疑問に思ったことについて調べ、まとめる。
・体育(とび箱・マット・マラソンなど)のコツについて調べ、まとめる。
・料理のレシピを調べて、実際に作り、感想をまとめる。

チャレンジメニューの例
・新聞やニュースから興味のある記事を見つけ、調べてまとめる。
・新しく習った熟語や、ことわざ、四字熟語を使った例文を調べたり、作ったりする。

育てたい力

自己決定する力 学習を継続する力 学習計画を立てる力

〈ふりかえる〉

自分の学びを見つめ直し、次の学びにつなげる力を育てる。

- めあてやゴールをもとに学習をふりかえる
- 自分の現在地を確認する
- 学びのつながりを見つける
- 次の学習でどうするかを考える

育てたい力

学びを整理する力 学びをつなげる力 学びを調整する力

〈ふりかえる ふりかえり活動の充実〉

ふりかえりを次の学びにつなげることを意識した活動

- ・ 前時のふりかえりや、既習内容のふりかえりからスタート
- ・ 前時にみつけた疑問から、本時の課題を設定



〈ふりかえる ふりかえり活動の充実〉

めあてを意識したふりかえりを行うための手立て

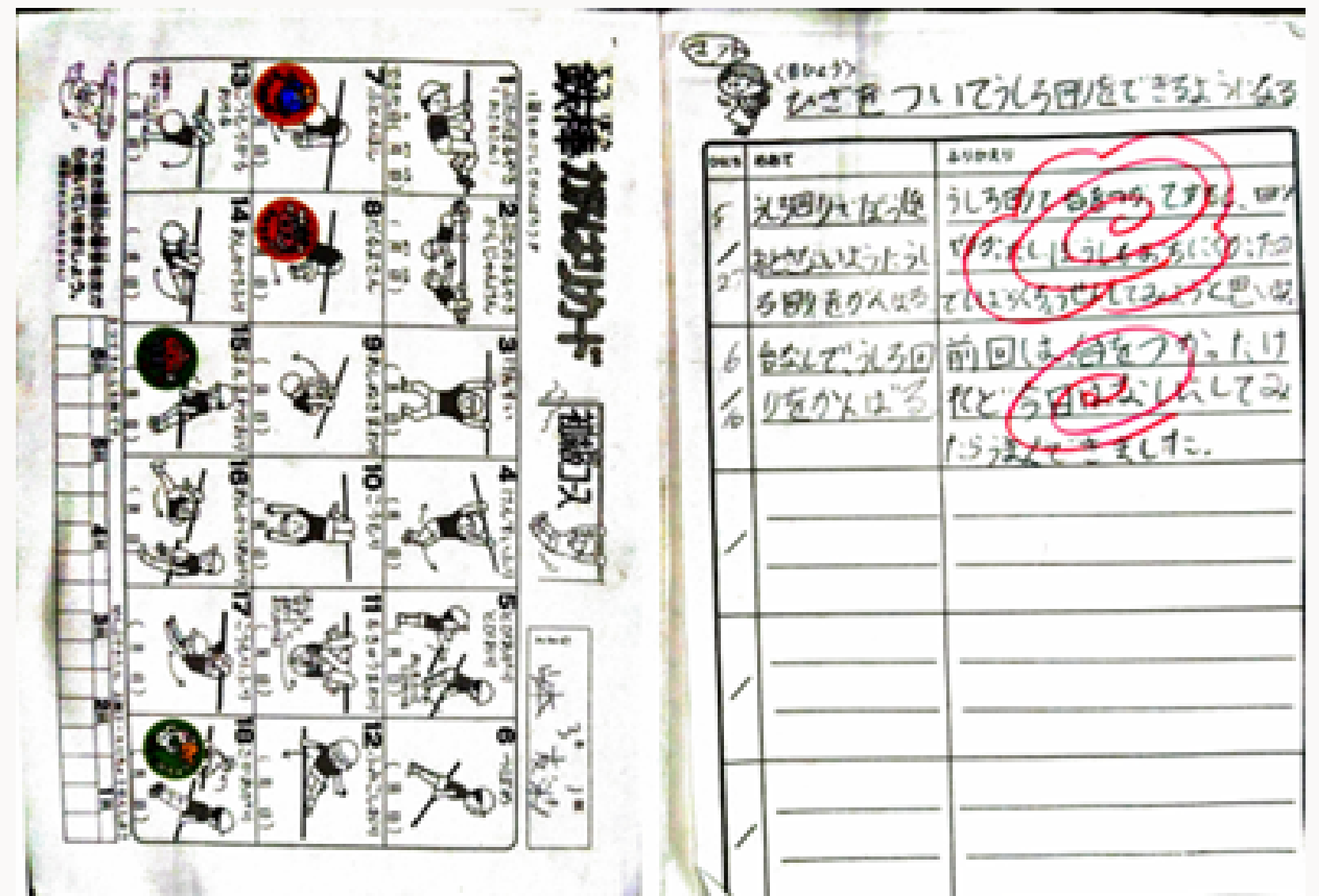
- ・めあてとふりかえりが一体となった学習シートを活用

鉄棒の連続技に挑戦！

◎単元のめあて

◎単元の計画とふり返り

	計画	めあて	学習内容のふり返り
①	4月28日		
②	5月		
③	5月		
④	5月		
⑤	5月		

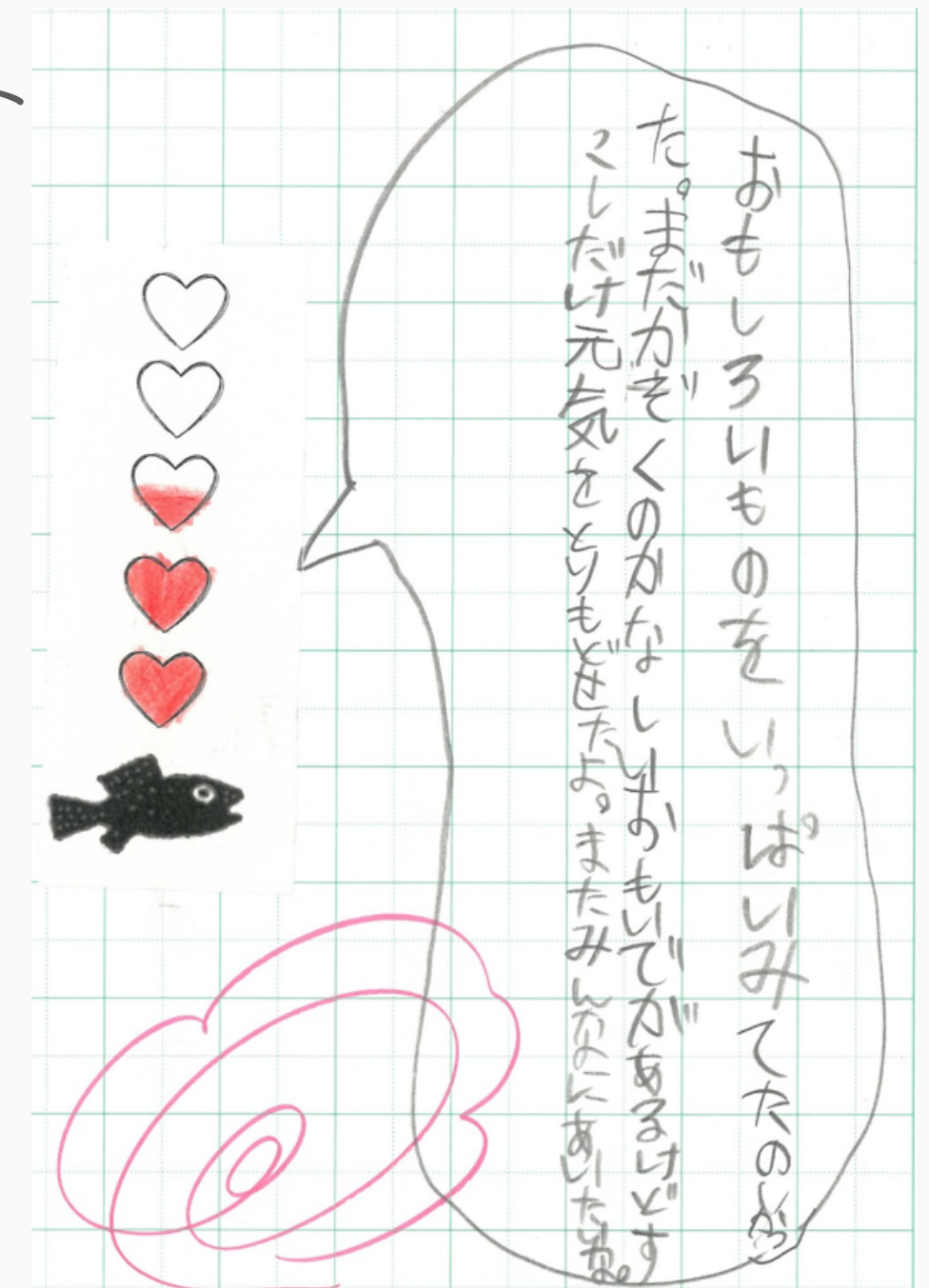


〈ふりかえる ふりかえり活動の充実〉

書くことが苦手な児童もできるふりかえり

- ・ 文章を書く以外の方法で学びのアウトプット

😊😊😊に いろをぬろう！	〈できたこと〉〈わかったこと〉〈おどかしかったこと〉をかこう！
(7)がつ(3)にち 😊 😐 😞 ◎ ぼーちり！ ○ できた！ △ もうすこし！	ぶろくつかおなくて すうぜでもかた うじにまるも
(7)がつ(8)にち 😊 😐 😞 ◎ ぼーちり！ ○ できた！ △ もうすこし！	えグラフにしたらわかりやすかった。 ゆるんがちいさくな。たぐらおった くたものにいろな



③授業づくりについて

〈授業参観シートの活用〉

ねらい

- 研究の視点を教職員で共有
- 児童の姿をもとに協議
- 授業改善につなげる

令和8年度 高美小学校 授業観察シート				観察者:	
月 日() 年		組 授業者:		教科: めあて『 』	
観察の視点		視点に基づいた子どもの具体的な様子		授業者の働きかけや支援	
① めあて (導入)	・めあてや学習計画をたてるときの子どもの様子 ・めあてを提示したときの子どもの様子(見通しをもって学びに向かう姿勢はみられたか等)				
② 活動	・学習活動の様子(自ら学ぼうとする姿がみられたか等)				
③ ふりかえり	・ふりかえりの様子(めあてを達成できているか、次のはてなにつながっているか、本時の学びが自分の役に立ったと思えているか等)				
④ その他					

〈6月 授業研〉

5年生 社会「さまざまな土地のくらし」

問いをもつ…事前のはてな博物館
から本時の問いへ

日付は何？

一番気になるはてな
なんで北の方が桜の開
花の時間が遅いの？

?今日のはてな？(なぜ？これはなに？)

5月10日
4月30日
4月20日
4月10日
3月31日
3月25日
1月

時間が
かいて
ある

一番気になるはてな
なぜ日付が書いてる？

よそう
りゆう

数字は何

紅葉のなに
か？

時期、日に
ち

なぜこんな
に時期が違
うのか？

一番気になるはて
ななぜこんなに桜が咲く時期が違うのか？

よそう
りゆう

?今日のはてな？(なぜ？これはなに？)

5月10日
4月30日
4月20日
4月10日
3月31日
3月25日
1月

色が関係あ
る？

一番気になるはてな
沖縄だけ1
月に桜が咲
く。

よそう…南だから
りゆう…南は暖かいから

北の方が桜の
開花の時間が
遅いの？

日付は何？

一番気になるはてな
なんで北の方が桜の開
花の時間が遅いの？

よそう
りゆう

〈6月 授業研〉

5年生 社会「さまざまな土地のくらし」

ふりかえる・・・R80

／ さまざまな土地のくらし⑦

④

①

P64・65 写真を見よう みどころ

②

⇒予想

名前(



自分でまとめよう。

◎

◎

◎

⑤

③

今日の学習で気づいたこと・分かったこと

だから、 なぜなら、 しかし、

③

今日の学習で気づいたこと・分かったこと

だから、 なぜなら、 しかし、

〈6月 授業研〉

6年生 算数「分数÷分数」

めあて…めあてレベルの設定

レベル①

なんとか解き方を見つけて答えにたどりつく。

レベル②

考え方を友だちにわかるように説明する。

レベル③

いくつかの考え方をみつける。その中から「はかせ」の考え方をみつける。

〈6月 授業研〉

6年生 算数「分数÷分数」

実行する…目的を意識して
交流する相手を選択



〈6月 授業研〉

6年生 算数「分数÷分数」

ふりかえる…三文構成の型を
提示

②レベル①をたっせいできた。
なぜならこたえがあっ ていたから
だからつぎはレベル②をがんばり
たい

ふりかえり

1文目

めあて（どのレベル）を達成できたか

2文目

なぜ達成できた（できなかった）のか

3文目

次回に向けて

- がんばりたいこと
- やってみたいこと など

〈7月 授業研〉

3年生 算数「時こくと時間」

問いを生む…身近な活動から
課題を設定

7/9 ホールリレーの記録

1回目	1分	63秒 = 1分3秒
2回目	1分	61秒 = 1分1秒
3回目	1分	56秒 = 0分56秒

どれも1分 全部

〈7月 授業研〉

3年生 算数「時こくと時間」

ふりかえる…接続語を使った型の提示

③ (時こくや時間のとりかた) について、

時こくや時間のとりかたがよくわかりました。

なぜなら、

ひたひたの時間をとってあとはのこりの数も
たせはいいことだ分かったからです。

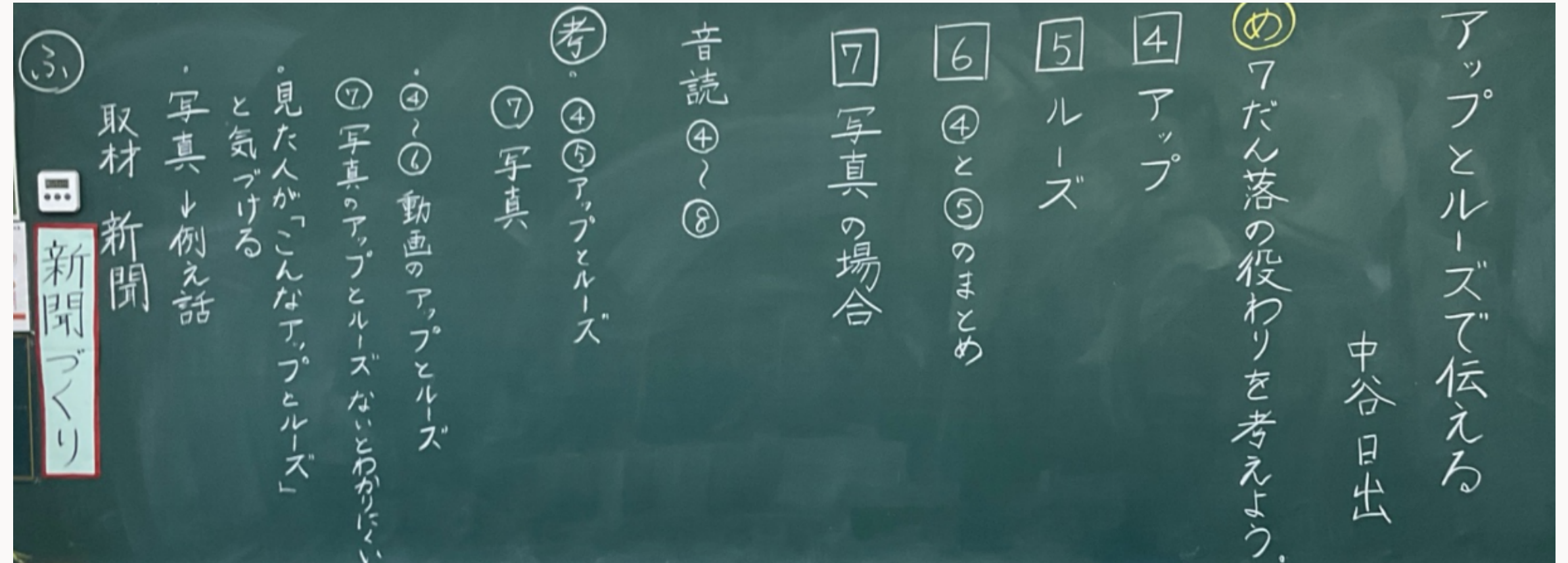
〈7月 授業研〉

4年生 「アップとルールズで伝える」

見通す…学ぶ目的意識

社会科での新聞づくりを

ゴールに設定



〈7月 授業研〉

4年生 「アップとルーズで伝える」

ふりかえる…書く活動の前に
話す時間を設定

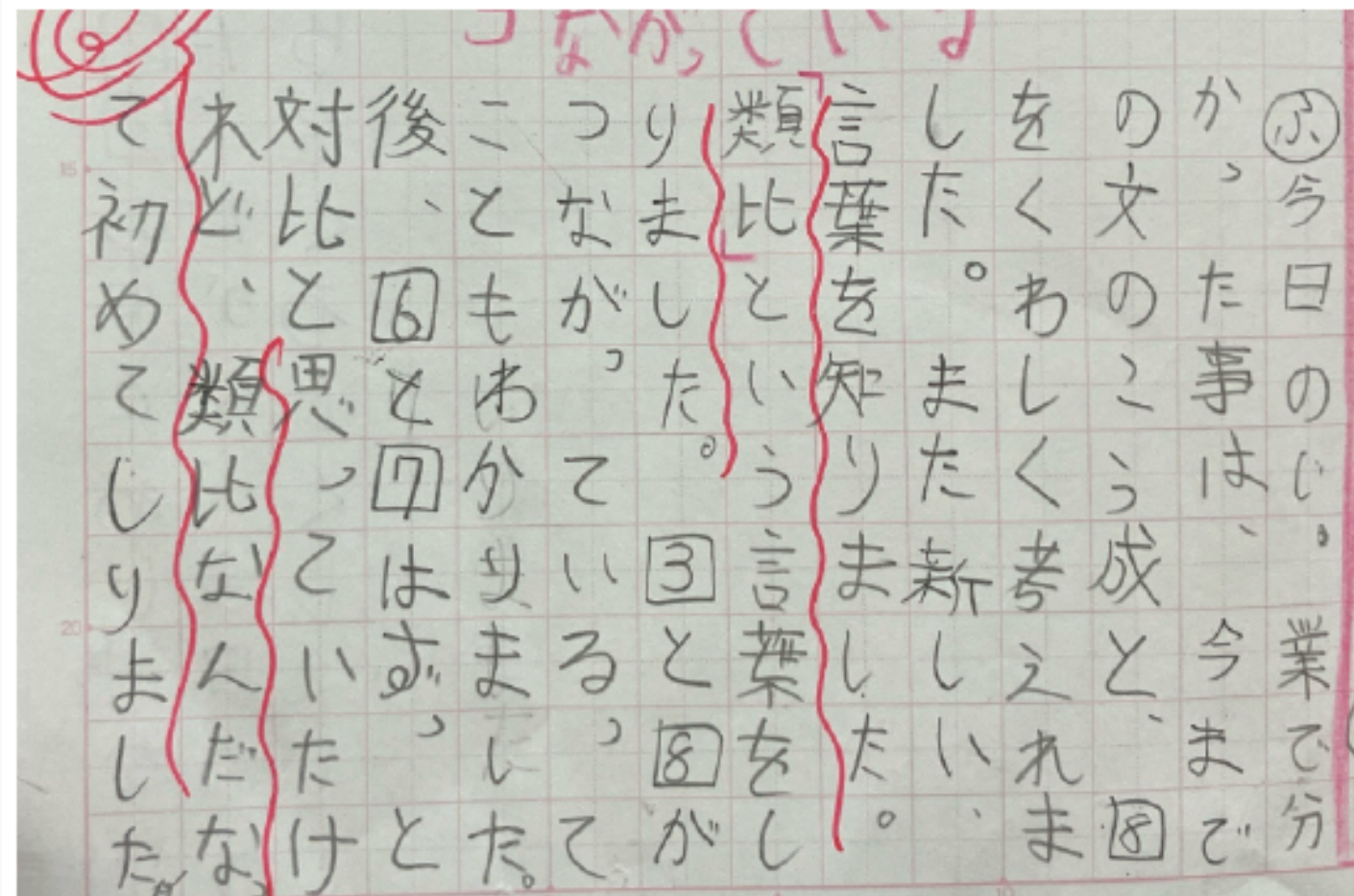


〈7月 授業研〉

4年生 「アップとルーズで伝える」

ふりかえり…書き方の型を提示

R80 接続語でつなぐ



ふりかえり

①今日の授業で〜〜。B
②(接続語)〜〜。A
③だから次は、〜〜。S
④
⑤

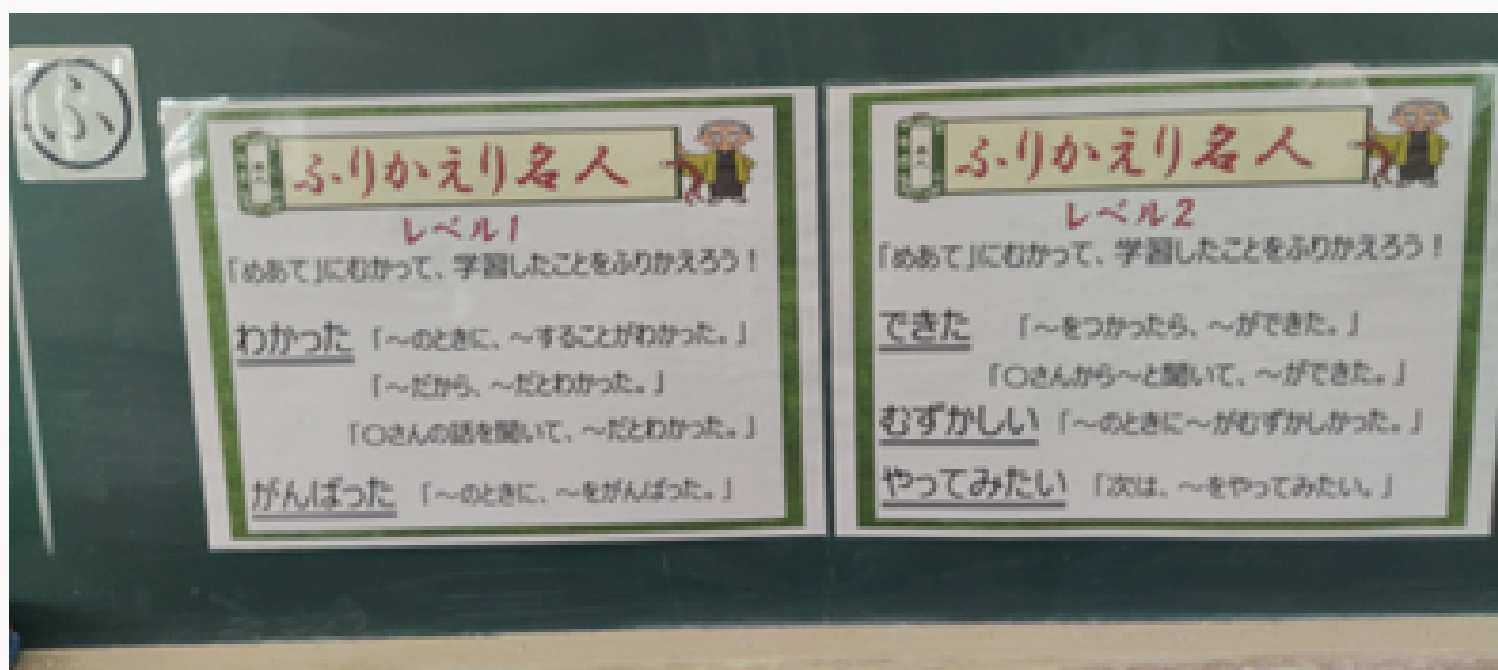
つそ まし だ な
ま れ た か か ぜ
り で し ら な ら

S⁺

ふりかえり
今日の授業で、
7段落は、

と分かった。

〈日々の授業づくりへの広がり〉



ふり返りの書き方

- ①まず、めあてを達成できたかどうかを書く。
- ②なぜ達成できたのか、または、なぜ達成できなかったのかを書く。
- ③次にがんばりたいことを書く。

◎めあてを達成できた場合の例

		めあて	学習内容のふり返り
①	4月14日	投げるとき姿勢に気を付けて、ソフトボールを遠くまで投げよう。	前回よりもボールを遠くにとばせるようになりました。なぜなら、投げるときに投げる手と反対の足を前に出したからです。次は、投げる角度を意識して投げたいです。

◎めあてを達成できなかった場合の例

		めあて	学習内容のふり返り
①	4月14日	投げるとき姿勢に気を付けて、ソフトボールを遠くまで投げよう。	あまり遠くに投げることができませんでした。なぜなら、なぜなら、助走をあまりできていなかったからだだと思います。次は、しっかり助走して投げたいです。

高美小学校内 TMだより

R8.6.22.NO.10

4年1組の社会の授業におじゃましました。

★ふりかえりから始まる学習★

授業のはじめには、前時のふりかえりが紹介されていました。複数の子どものふりかえりをテンポよく共有することで、一気に学習モードへと切り替わり、教室全体に集中した雰囲気生まれていました。中にはノート1ページ分いっぱい書いていた子も紹介されており、そんなに書けるのかと驚きました。前時までに学習したことについて子どもたちとのやり取りを通して、本時の学習「水はどこから来るのか」へとつながっていきました。

★具体的な資料をもとにした学び★

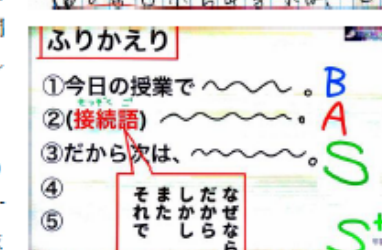
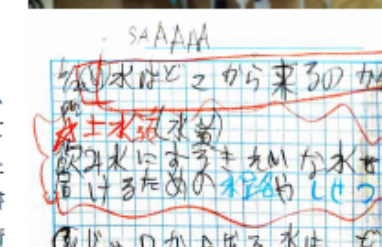
本時では、水道の蛇口をひねったら出てくる水はどこから来るのか、ロイロノートを活用し、スライドや資料を用いて学習が進められていました。写真や図などの情報が豊富に用意されており、子どもたちはイメージをもちながら内容を理解している様子でした。教科書の内容だけでなく、高安や龍華にある施設についてなど、身近な情報と結びつけて考えることができるよう工夫されていました。一問一答形式のやり取りはテンポよく進み、子どもたちは次々と反応しながら参加していました。

★自分の学びを見つめる工夫★

知識を問う場面ではなく、子どもたちが板書を写すなど学習に取り組む姿勢について、小泉先生は「先生より早く書けたらA」「もうすでに~できていたらS」といった声かけを頻繁に繰り返されていました。そのたびに、子どもたちは「A」や「S」とノートの上のほうに書き留めていました。子どもたち自身が「自分はできているか」と、取り組み方を見つめなおすきっかけとなっていました。さらに、ふりかえりの場面では書き方の構成が示され、学びを整理しながら次につなげる視点が意識されていました。キーワードも子どもたちの言葉から引き出されており、自分たちの学びとしてとらえようとする姿が見られました。ふりかえりの型と同時に、「B」「A」「S」という基準を子どもたちと共有することで、子どもたちは明確な見通しをもって取り組むことができていました。ノートを提出したら、目の前で評価してもらえるという点も、子どもたちの意欲につながっているように感じました。

～まとめ～

前時のふりかえりから学習をスタートし、これまでの学びを生かしながら本時の学習へとつなげていく授業でした。ロイロノートや身近な地域の施設に関する資料を活用することで、子どもたちは水道水がどこから来るのかをイメージしながら学習を進めていました。また、「B・A・S」の基準を共有したり、ふりかえりの構成を示したりすることで、自分の学び方を見つめ直す工夫も見られました。学習内容だけでなく、自分自身の取り組み方についても意識しながら学びを進める姿が印象的でした。小泉先生、4年1組のみなさん、ありがとうございました。



④成果とこれから

〈児童の変容〉

3年生 「なぜなら」 わかったことの理由を伝える

③ 0 がはいっ、というかけ算は
どんなに大きな数だとしても
も答えはぜ、たいに0にな
るリッがとってもよく分か
りました。

③ 2つの表を1つの表にま
とめると、とても分かり
やすくなるという事が分
かりました。なぜなら、
2つの表でたすと少しや
やこしくなるところも、
1つの表にまとめると2
つの表ではややこしりと
ころも1つの表にまとめ
るとがんとんになるし分
かりやすくなるからです。

〈児童の変容〉

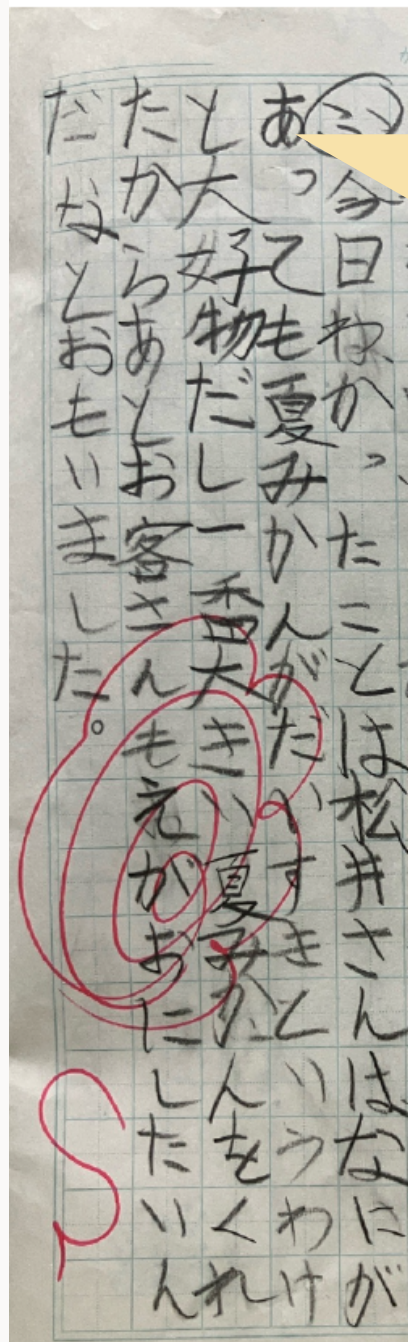
5年生 「なぜなら」 自分の考えの理由を伝える

① 大陸は5つでそれ以外は、島と
よぶと知った。

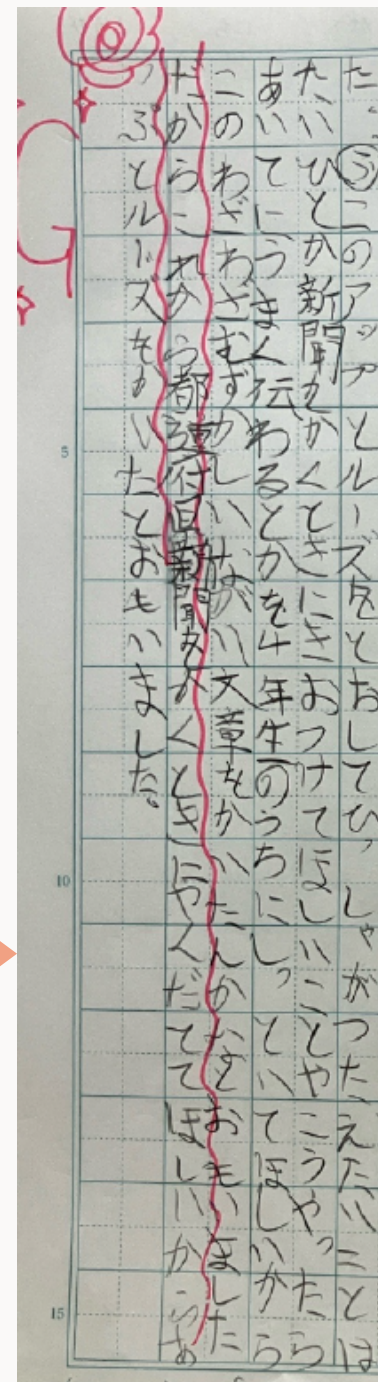
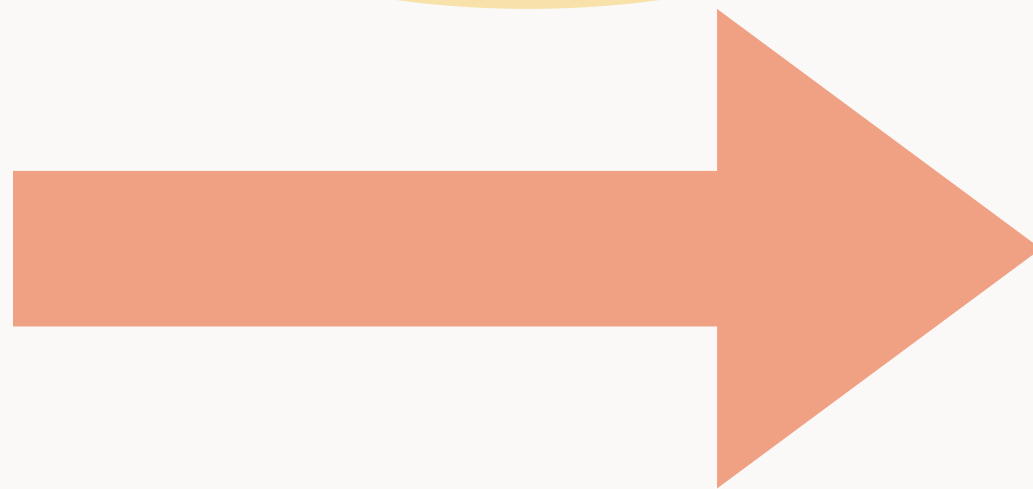
② ぼくには栄養たっぷりの自然の
水が米作りに大切だと思う。
なぜなら、庄内平野でそだてて
いる作物はそれを使っているか
らです。

〈児童の変容〉

4年生 「なぜなら」単元のゴールを意識



今日分かったこと、
思ったことだけを記述。



わかったこと、気づいた
ことを記述。「だから」
のあと、単元のゴールを
意識して記述。

〈児童の変容〉

6年生 「なぜなら」「次は」めあてを意識

① かん ない 3 い な 計算 を や っ て い
て そんな かん じ で せ じ ゃ ん だ と
か ず じ い だ と 思 っ た

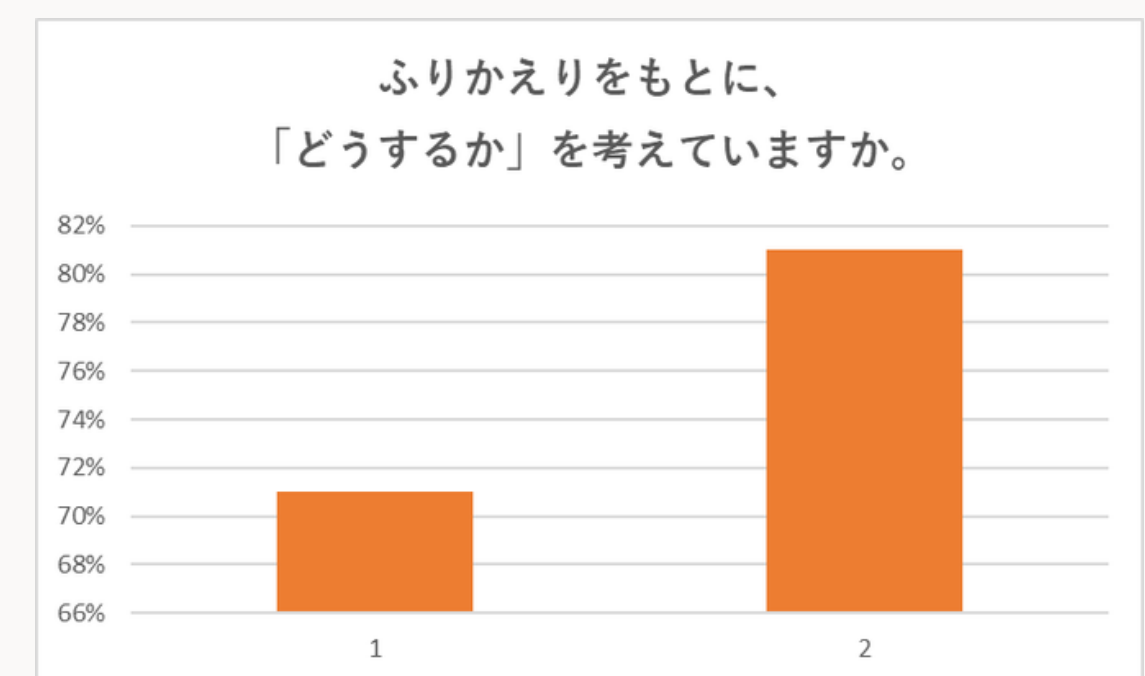
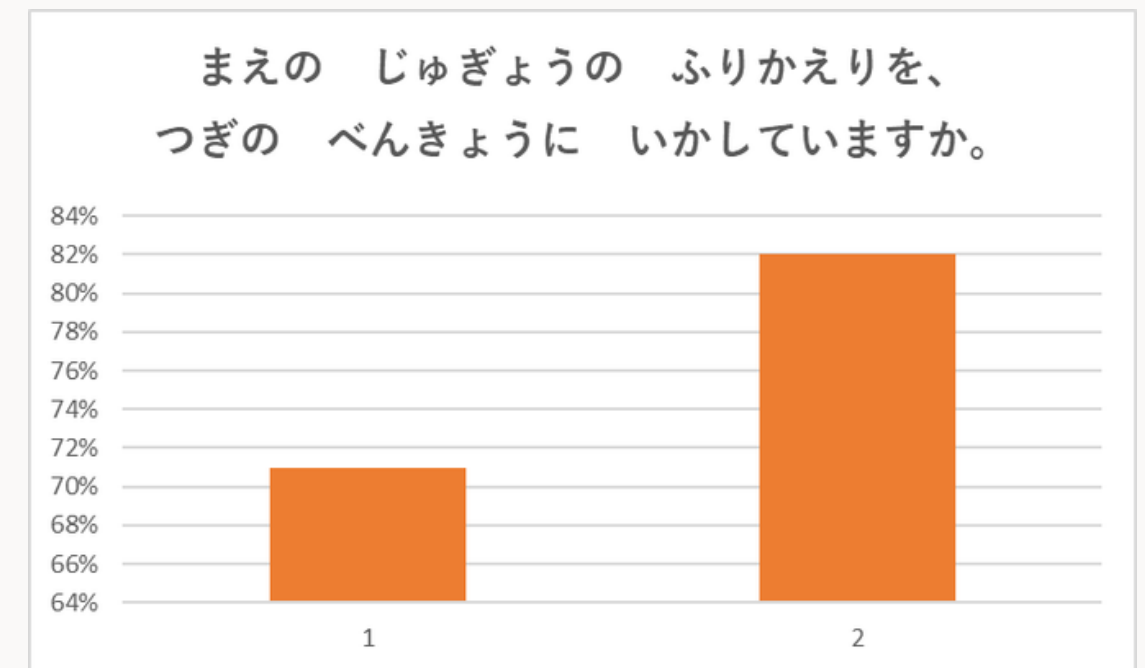
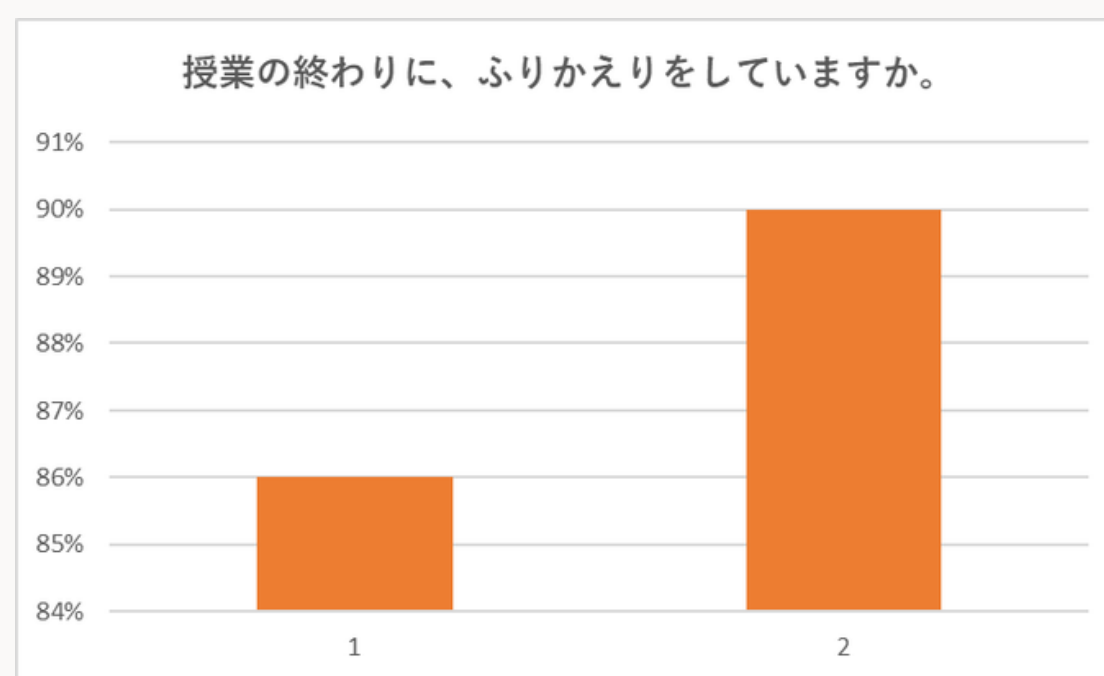
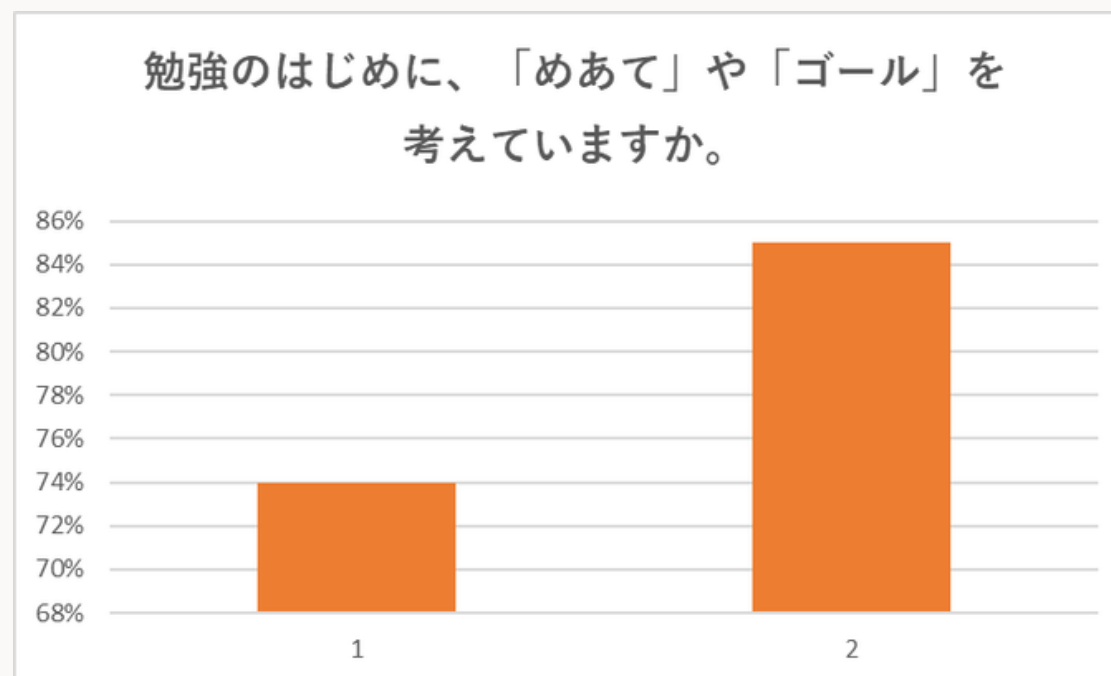
① レベル ② を 達 成 じ き な か っ た。
な ぜ な ら 説 明 を し な か っ た か ら。
ま だ こ こ へ を だ せ る よ う に な り
た い の

〈児童アンケート結果からみる成果〉

四月に実施したアンケート項目の

すべてが上昇

- ・「めあて」「ゴール」を意識している→11%上昇
- ・ふりかえりをいかしている→11%上昇
- ・ふりかえりをもとに、「どうするか」考えている→10%上昇



〈テスト・学力調査結果からみる成果〉

- ・ R7年度5年生、R8年度6年生（同一集団）比較

すくすくウォッチ わくわく問題の対府正答率上昇（伸び率114%）

- ・ R7年度6年生、R8年度6年生（同一学年）比較

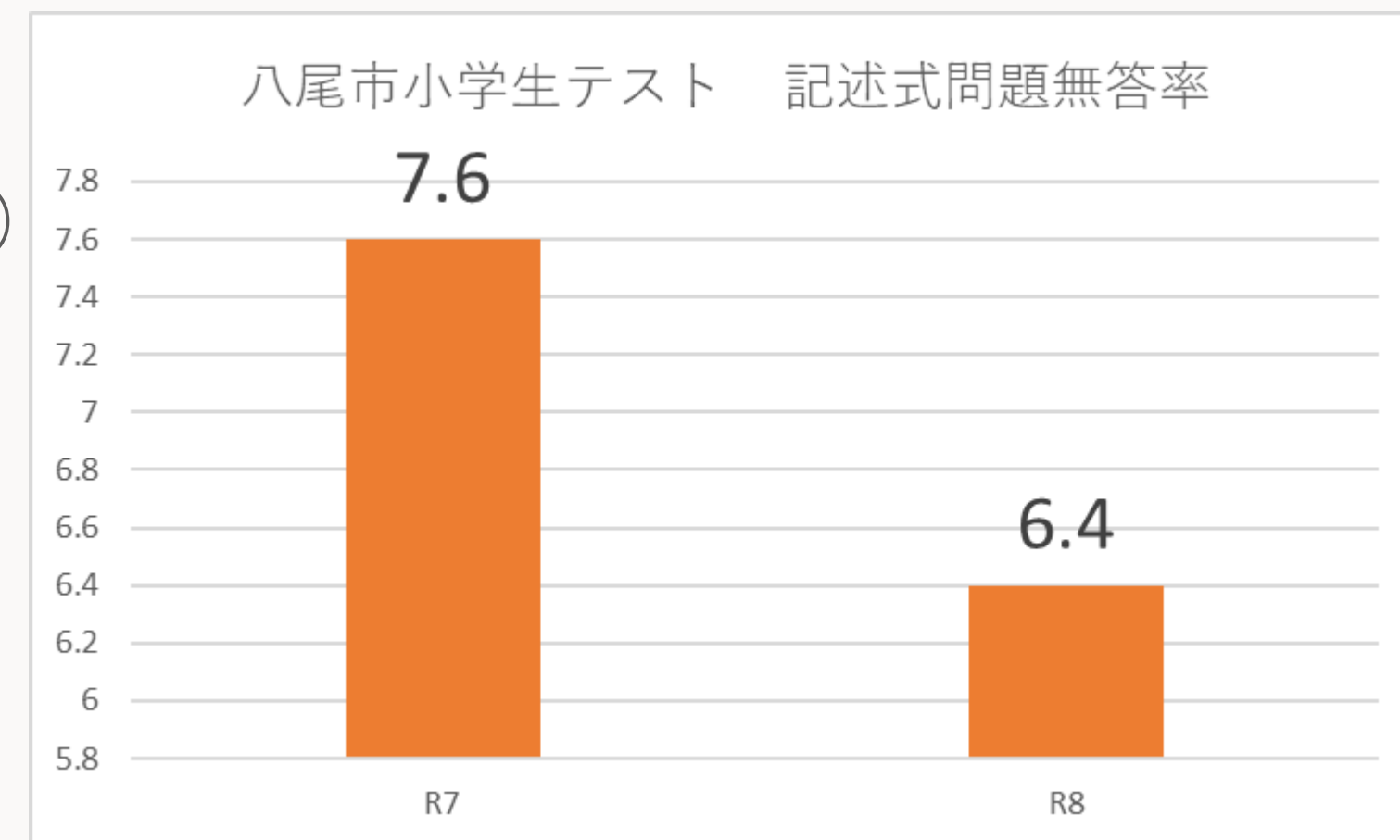
全国学力学習状況調査 国語 記述式の対府正答率上昇（伸び率110%）

- ・ 八尾市小学生テスト

（対象：4～6年生 教科：国語、算数、理科）

R7年度1学期、R8年度1学期記述式問題

無答率 1.2%減少

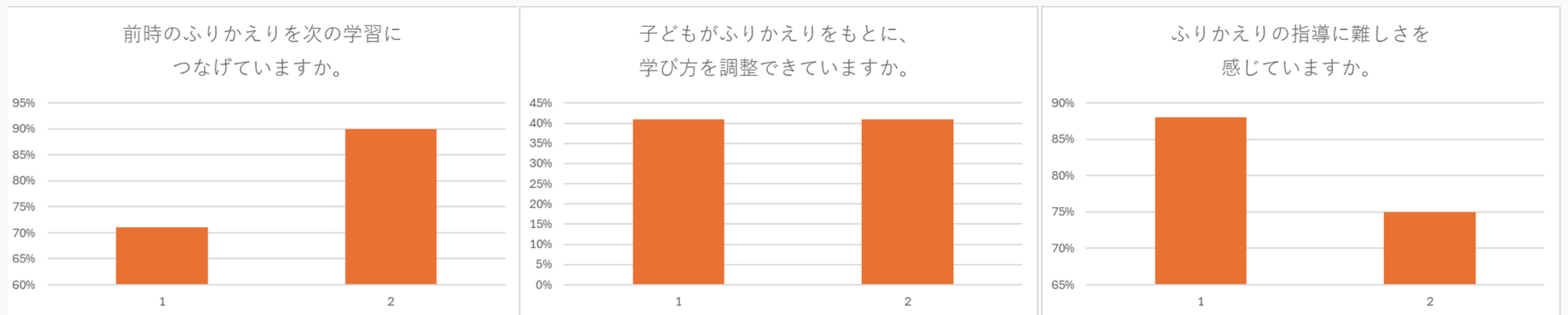


〈教員アンケート結果からみる成果〉

- ・ふりかえりを次の学習につなげている→19%上昇
- ・ふりかえりをいかしている→変化なし
- ・ふりかえりの指導に難しさを感じている→13%減少

→ふりかえりを活用した授業づくりの型ができつつある。

型をいかし、子どもたちの姿を丁寧に見取りながら、指導法について研究を続けていく。

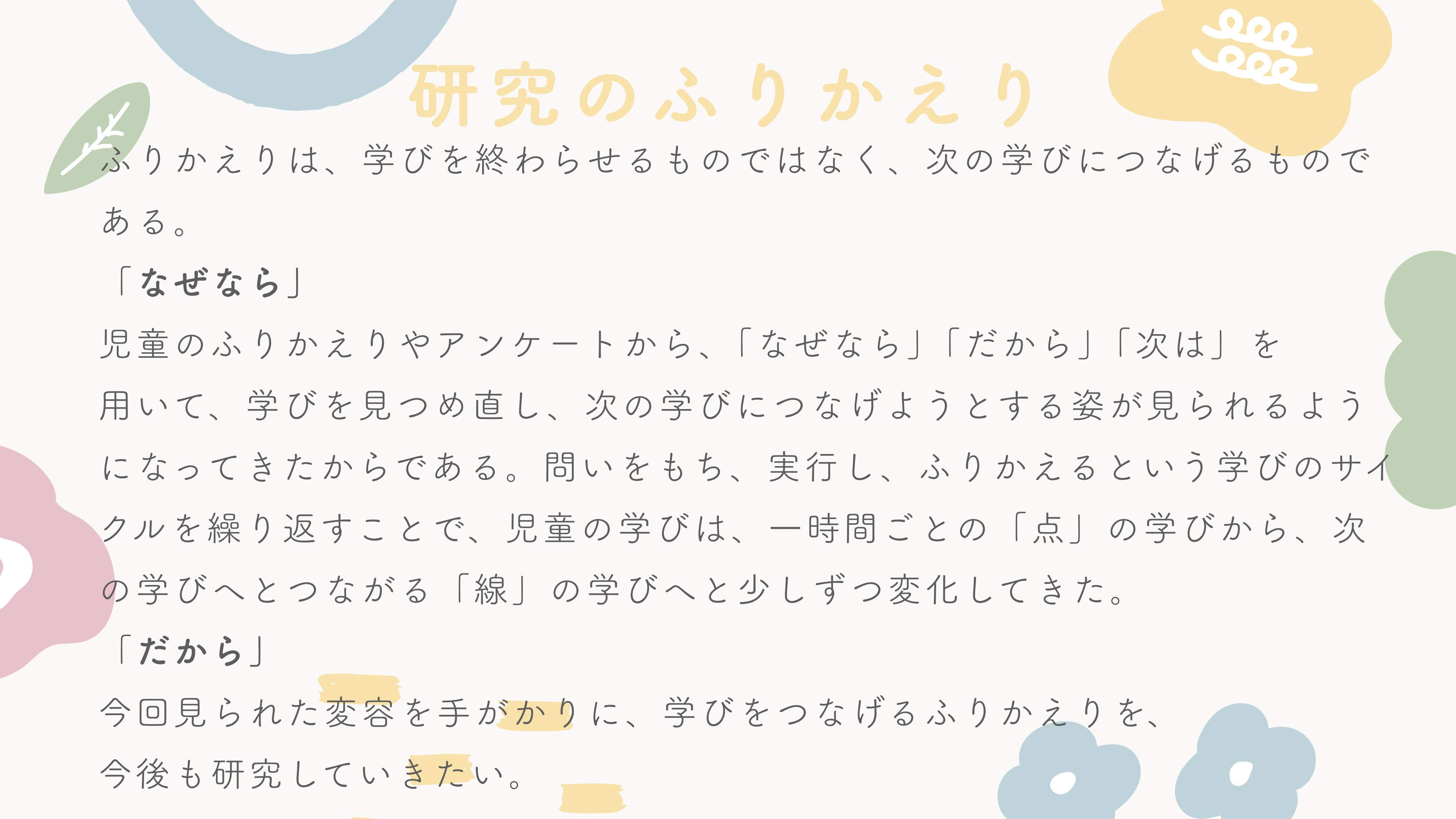


まとめ

学びが点から線へ

- 問いをもつ姿が見られた
- ふりかえりを次につなげる姿が見られた
- 学びを生かそうとする意識が高まった

→仮説は概ね支持された



研究のふりかえり

ふりかえりは、学びを終わらせるものではなく、次の学びにつなげるものである。

「なぜなら」

児童のふりかえりやアンケートから、「なぜなら」「だから」「次は」を用いて、学びを見つめ直し、次の学びにつなげようとする姿が見られるようになってきたからである。問いをもち、実行し、ふりかえるという学びのサイクルを繰り返すことで、児童の学びは、一時間ごとの「点」の学びから、次の学びへとつながる「線」の学びへと少しずつ変化してきた。

「だから」

今回見られた変容を手がかりに、学びをつなげるふりかえりを、今後も研究していきたい。

ご清聴ありがとうございました